



命を救う。命をつなぐ。
CHIKAMORI
HEALTHCARE GROUP
近森病院

近森病院からの ホットライン

2020.9 Vol.199

発行：近森病院地域医療連携センター

かかりつけ医の先生方へ
地域医療連携センターより
循環器内科 医師のご紹介

帰ってきました

心不全診療をがんばっています!



循環器内科

ほそだ はやと
科長 細田 勇人

経歴

- 2009 (H21) 年 3 月 東京医科大学卒業 (茨城県出身)
- 2011 (H23) 年 4 月 近森病院 着任
- 2015 (H27) 年 4 月 国立循環器病研究センター
- 2020 (R 2) 年 4 月 近森病院 着任

専門分野 循環器集中治療、虚血性心疾患

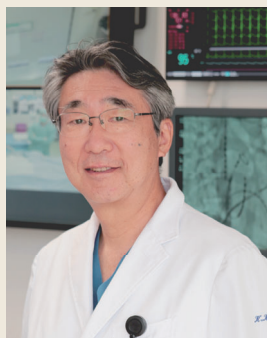
専門資格 日本内科学会・総合内科専門医・認定内科医
日本循環器学会・循環器専門医
日本心血管インターベンション治療学会・認定医
日本集中治療学会・集中治療専門医
医学博士

趣味 スポーツ観戦

茨城生まれ、茨城育ちの農家の長男坊です。

東京医科大学医学部を 2009 年に卒業し、茨城県で初期臨床研修をおこなった後、2011 年に近森病院で循環器内科医として働き始めました。その後、2015 年より国立循環器病研究センター (国循) に 5 年間勤務し、今年 4 月より近森病院に帰ってまいりました。

国循では重症心不全に対する補助循環装置を使用した循環器集中治療やその原因となる虚血性心疾患に対する治療を中心に学んできました。学んできた経験を生かし、心不全患者に対する診療と心不全の一番の原因といわれる虚血性心疾患に対するカテーテル治療で、高知の医療に貢献できればと思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



かわい かずや
主任部長 川井 和哉

1983 年 東京医科大学 卒業
日本内科学会・総合内科専門医・指導医・評議員
日本循環器学会・循環器専門医・中国四国地方会評議員
日本心血管インターベンション治療学会・専門医・施設代表医・監事・代議員
経カテーテル的大動脈弁置換術関連学会協議会・TAVR 実施医
European Society of Cardiology Fellow (FESC)
日本循環器学会認定 FJCS 会員/麻酔科標榜医/高知大学医学部臨床教授
日本心臓病学会・特別正会員 (FJCC)/総合内科専門医会・高知支部幹事
JMECC 審査委員会委員/ AHA BLS Training Center Faculty

循環器内科
へのご紹介は…



	月	火	水	木	金
午前	浜重 窪川 菅根	川井	川井 浜重 中岡 三戸	浜重 関 今井 細田	窪川 深谷 渡邊 三戸
午後	深谷	土居 西田	深谷	土居	



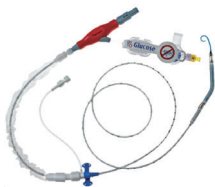
088-822-5231 (代)

【緊急の紹介受診について】 ⇒ E R 救命救急センターへ おつなぎします
【翌日以降の紹介予約について】 ⇒ 地域医療連携センターへ おつなぎします
【共同機器利用の予約について】 ⇒ 近森病院画像診断部へ おつなぎします

※混雑状況によりお待たせする場合がございます。何卒ご了承ください。

一人でも多く！
重症患者さんを救うことを目指す
心不全診療

近年は心不全パンデミック時代といわれ、日本の心不全患者は年々増加し、社会問題となってきております。また、高齢化とともに重症心不全をきたす患者も増加しており、高知県も例外ではありません。

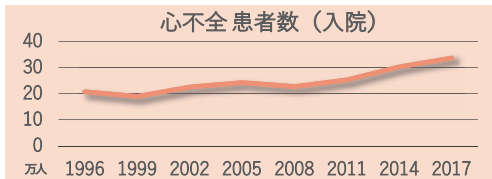
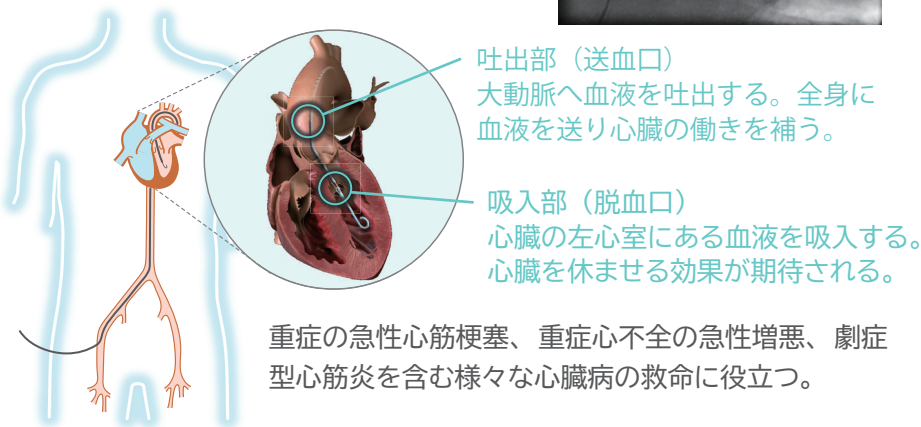
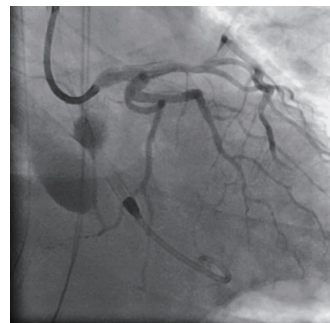


Impella
インペラとは カテーテル型循環補助装置

特徴 低侵襲なうえ、迅速に導入でき
十分な補助循環を行う

- 県下の実施施設
- 近森病院
 - 高知医療センター

心臓のポンプ機能が急激に低下した状態のときに、インペラを挿入することで血行動態の改善、心筋の回復を目指すことが可能。



厚生労働省平成 29 年 患者調査 (傷病分類編) 結果の概要から抜粋

重症心不全を治療するためには血行動態の変化を常に把握し対応するきめ細かい医療が必要となります。強力な補助循環装置である **Impella** が導入され、これまで救命できなかった重症心不全患者に対する治療の選択肢も広がりました。

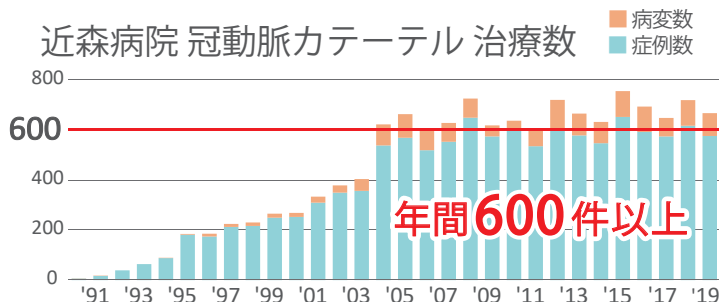
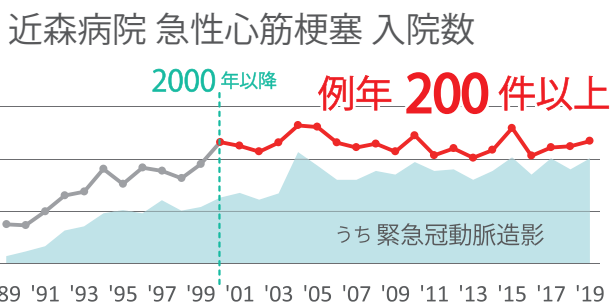
県下
TOP クラス
の症例数

心臓カテーテル治療

心不全の原因
第1位
虚血性心疾患

急性心筋梗塞をはじめとした「虚血性心疾患」は、心不全の主要な原因といわれています。「虚血性心疾患」を治療することは、増え続ける心不全問題を解決する一助になると考えられます。

当院では積極的に虚血性心疾患の治療を行っています。



心不全診療の第一歩は、心不全の発症予防であり、心不全の原因となる生活習慣の改善や高血圧・糖尿病に対する治療を行うことです。適切な治療を提供するためには患者を一番近くで見てください。かかりつけ医の先生方との連携が不可欠です。先生方と協力し、より良い心不全医療を提供していければと思っております。

心不全を疑った場合や、突然の呼吸困難感などにより救急治療が必要になれば、いつでもお気軽にご紹介いただけましたら幸いです。

